

第 127 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(平成 30 年度 第 6 回)

- ・日 時 平成 30 年 9 月 26 日 (水) 15:00～16:00
- ・場 所 浜田キャンパス会議室、出雲キャンパス大会議室、松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、江口副学長、山下副学長、岸本副学長
林総合政策学部長、岩田人間文化学部長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、マユ教務部長、佐藤学生生活部長、今中学生生活部長、田中学生生活部長、石橋看護学研究科長、落部事務局長
- ・欠席者 梶谷看護栄養学部長、狩野別科長、李 NEAR センター長

○第 125, 126 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 125 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

第 126 回教育研究評議会の議事要旨について、犬塚教務部長から文言の修正依頼があり、次回再度確認することとなった。

《審議事項》

(1) 教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について(出雲キャンパス)

山下副学長から、教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について、報告事項 1 と合わせて資料 (略) により説明があり、承認された。

(2) 「島根県立大学浜田キャンパス学生通則」の改正について(浜田キャンパス)

佐藤学生生活部長から、島根県立大学浜田キャンパス学生通則の改正について、資料 (略) により説明があり、承認された。

清原学長から、公欠のあり方について今後検討するようにと発言があった。

(3) 教員人事に関する諸規程の整備について(浜田キャンパス)

事務局から、教員人事に関する諸規程の整備について、資料 (略) により説明があり、承認された。

清原学長から、教員人事に関する各種委員会等について補足説明があり、それら委員会等の設置に関する規程の最終的な決定は、次回もしくは次々回の理事会で行いたい旨の発言があった。

犬塚教務部長から、退職者や転職者が出た場合、人事基本問題委員会で従来のポストを補充するのか、大学改革に活用するのかを決めるということか確認があり、ポスト補充の場合は時間がかかるので、補充の場合はできるだけ早く決定をお願いしたい旨の発言があった。

清原学長から、教育研究活動に支障が無いよう配慮する旨の回答をされた。

(4) 公立大学法人島根県立大学利益相反マネジメント規程(案)について(浜田キャンパス)

事務局から、公立大学法人島根県立大学利益相反マネジメント規程(案)に

ついて、資料（略）により説明があり、承認された。

- (5) 島根県立大学出雲キャンパス利益相反マネジメント規程（案）について（出雲キャンパス）

山下副学長から、島根県立大学出雲キャンパス利益相反マネジメント規程（案）について、資料（略）により説明があり、承認された。

清原学長から、文言の修正について依頼があった。

- (6) 知夫村との連携に関する協定について（出雲キャンパス）

山下副学長から、知夫村との連携に関する協定について、資料（略）により説明があり、承認された。

- (7) 出雲警察署との連携に関する協定について（出雲キャンパス）

山下副学長から、出雲警察署との連携に関する協定について、資料（略）により説明があり、承認された。

- (8) 中国 内蒙古工業大学との包括協定の締結について（浜田キャンパス）

清原学長及びケイン国際交流センター長から、中国 内蒙古工業大学との包括協定の締結について、資料（略）により説明があり、承認された。

《報告事項》

- (1) 専任教員の選考開始の学長発議について（出雲キャンパス）

※審議事項（1）で説明済みのため省略

- (2) 人間文化学部専任教員採用予定者の決定について（松江キャンパス）

岸本副学長から、人間文化学部専任教員採用予定者の決定について、資料（略）により報告があった。

- (3) その他

清原学長から、島根大学との定期協議の会合及び県立高校校長会について、口頭により説明があった。

島根大学とはCOC+の補助期間終了後も関係を継続し、入試や広報といった分野の連携をつよめていきたい旨の発言をされた。

県立高校とは高大連携の新たな枠組みを作りたいと考えており、高校と大学が協力してひとつの授業を実施するなど、双方向の試みを検討したい旨の発言をされた。

次回開催予定：平成30年10月24日